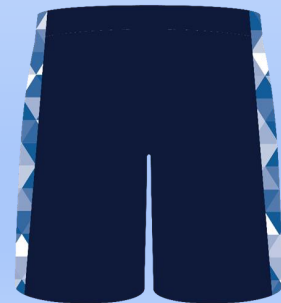


# 富岡SC「新ユニフォーム」



# 富岡サッカークラブ 新ユニフォーム決定！



- ひとつ
- これまでのユニフォーム
- ユニフォームストーリー
- 最終デザイン案

2025年1月1日

富岡サッカークラブ ユニフォーム委員会



# ひとこと



富岡SCのユニフォームは、50年間、ほぼ変わらないデザインでした。以前から、コーチ・保護者・団員より、「デザインを変えたい」との要望はありましたが、50年を期に思い切って変える決断をしました。

デザイン作成にあたり、保護者・コーチの有志を募りユニフォーム委員会を組成、長時間、みんなで話し合ってきた4つのデザイン案を、団員（保護者）・コーチで投票してもらい、1つに決定したのが今回のデザインです。

みんなで話し、出来上がったデザインは、どの案も素晴らしく、思い入れのあるものでした。それだけに、今回選ばれたユニフォームを皆さまざま誇りと思い入れを持って頂けると嬉しいです。最終デザイン案たちも載せていますので、ご覧ください。

今回、新ユニフォームに愛着を持って貰いたく「ユニフォームストーリー」を作成しました。お読み頂き、今回のユニフォームの「意味」を知って貰いたいと思います。

最後に子供たちがこのユニフォームに袖を通し、笑顔になる日が来ることを心待ちにしています。

関係者の皆様、ぜひ、富岡SCの新ユニフォームを見に来て下さい。

令和7年1月1日

富岡SC代表 ユニフォーム委員会 ファシリテーター 石場 靖浩



# これまでのユニフォーム



1974年～2025年3月



2025年4月～

「神聖」「魔除け」「武運」  
の意味合いをもつ『赤』

「清浄」「神聖」の意味合  
いをもつ『白』



🏆 伝統の継承とこれからの50年に向けたブラッシュアップ

🏆 神奈川、富岡に縁のある「鱗紋」をあしらい、新生「富岡SC」へ



# 富岡SC 「ユニフォームストーリー」




「情熱の赤、挑戦の白、繋がる三角形。攻めと守りが織りなす鱗の絆」  
～地域の誇りとともに50年。そして未来へ～

## 三つ鱗の3つの「意味」

- ① 「過去」 ⇒ 富岡SCが築いてきた「歴史」と「努力」  
～これまでの挑戦や勝利、敗北から学んだ経験～
- ② 「現在」 ⇒ メンバー全員が一丸となり戦う「団結力」  
～選手同士の信頼や保護者・コーチを含む「今、ここにいる全員＝メンバー」の繋がり～
- ③ 「未来」 ⇒ まだ見ぬ「未来」への情熱と挑戦  
～子供たちの成長、新しいゴールを目指す情熱と挑戦、そして次の世代へ伝えるバトン～

※三つ鱗  
金沢文庫や富岡八幡宮の創建に関わった北条家の家紋三つ鱗は守りのシンボルとして用いられ、チームを守り、団結する力を表している。

三つ鱗を「過去」「現在」「未来」として、グラデーションで繋げ、調和と歴史の積み重ねを表すチームエンブレム  も「三角形」。胸元にあるのはチームの「魂」であることを意味している



富岡SC「赤ユニフォーム」 全体図



「神聖」「魔除け」「武運」  
を意味する『赤』

～情熱の赤～

# 富岡SC 白ユニフォーム全体図



「清浄」「神聖」  
を意味する『白』

～挑戦の白～

# 富岡SC「新ユニフォーム」デザインコンセプト



- これまでの「赤」と「白」をベースに、金沢文庫や富岡八幡宮の創建に関わった北条家の家紋である「三つ鱗」をあしらったデザイン
  - 地域との結びつきや伝統への敬意に加えて、鱗紋が意味する「繁栄」、「成長」、「自由」、「若々しさ」といった意味合いも込めることで、「三つ鱗」がクラブの新しいアイデンティティ、今後の発展の象徴になって欲しいという願いを込めたデザイン(富岡SCエンブレムも鱗の一部となっている)
  - 「三つ鱗」は上から下にかけてどんどん濃くなっていくようにグラデーションを追加。クラブの歴史の積み重ねを連想させるとともに、積み上げてきた努力と情熱を表現している。
  - 「赤」はこれまでのユニフォームの赤よりも濃い赤に、「白」はパンツにネイビーを取り入れることで、カラーも刷新
  - 鱗紋がより見える「※セットインスリーブ」を採用
- ※肩から脇にかけて垂直に切り替えが入っている袖のこと。肩回りの動きが良くなる効果もある。  
※旧ユニフォームもセットインスリーブを採用



# 最終候補デザイン ～ユニフォーム委員会の皆さまと作ったデザイン案たち～



- これまで50年にわたって受け継がれてきた、「赤」と「白」にトリコロールのアクセントを加えたデザインを継承  
富岡SC=横浜の象徴=トリコロール

- 時代にとらわれずこれからも長く使い続けられるようシンプルなデザインはそのままに、トリコロールを襟だけでなく袖やサイドライン、パンツにも取り入れることでスタイリッシュに

- 「白」のパンツは、従来の白パンツではなく、トリコロールの「青」を採用

- レアルマドリード・マンチェスターUのように長く続くユニフォームは「シンプル」であることを踏襲

- 赤白どちらもトリコロールで色味を統一することにより、上下入れ替えての使用も可能



- これまでのユニフォームの「赤」と「白」を受け継ぎつつ、「赤」はイエローとブラウンを、「白」はゴールドをアクセントカラーに採用

- 赤ユニは「発展」「元気」などの意味を持つ黄色と「落ち着き」「安心感」などの意味を持つ茶色でラインを入れている

- ゴールドは「光り輝くもの」という意味があり、「団員一人一人が光り輝いてほしい」という想いを込めている



- 「白」はこれまでのユニフォームのカラーを受け継ぎながら、「赤」はエンジを採用

- 番号やアクセントカラーにはゴールドを採用

